

# あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

## なんじゃもんじゃ

令和元年6月2日（日）、尾張旭市の愛知県森林公園他で新天皇皇后両陛下をお迎えし、第70回全国植樹祭が開催されます。愛知県では1979（昭和54）年、西加茂郡藤岡町（現豊田市）にて昭和天皇皇后両陛下をお迎えした第30回全国植樹祭以来の開催です。



植樹祭の中心的行事として、天皇皇后両陛下による植樹（お手植えとお手蒔き）があり、今回は、天皇陛下がスギ（あいちニコ杉）、クスノキ、フモトミズナラ、皇后陛下がシデコブシ、ヒトツバタゴ、シキザクラをお手植される予定となっています。そのほとんどが愛知・岐阜・三重県に自生地がある絶滅危惧種の木々です。

この内のヒトツバタゴ、通称「なんじゃもんじゃの木」とも呼ばれ、5月初旬から中旬、白い花が樹全体を覆い、あたたかも雪が積もったかのように見える花木で、自然界での自生地が、愛知県、岐阜県東濃地方などの木曾川流域と長崎県の対馬にだけ分布するという不思議な樹で、犬山市などには国の天然記念物に指定された自生地があります。また、通称は偉い人が樹名を聞いて、村人がなんじゃもんじゃの木と答えたという伝説に由来しています。ただし、地方によって、なんじゃもんじゃの木は、クス、ニレ、ポダイジュなどの樹を指す場合もあります。

ヒトツバタゴは絶滅危惧種と言われていますが、40年程前から庭木や街路樹としても利用されており各地で見かけます。例えば、岐阜市にある岐阜大学への侵入路は見事な並木道となっています。そして、灯台元暗し、勝幡駅のロータリーにも街路樹（写真）として植えられていました。勝幡駅のヒトツバタゴは駅前整備後数年であり、まだまだ若木で樹相は弱弱しく、全国植樹祭の開催時には花は終わっていますが、岐阜大学の並木道を散策してきて数十年後の勝幡駅の風景を楽しみにしたいと思いました。

## 鳳凰山西照寺 弘法さん縁日



5月4日(土)午後1時から、東條町の鳳凰山西照寺に於いて、弘法さん縁日が開催されました。通常は3月頃開催されているそうですが、令和改元に合わせての開催となりました。宗祖 弘法大師 御影供法要 の後、ところてん・お菓子のふるまい、手作り品販売、並びに、令和元年 御開帳記念 限定 御朱印 授与がありました。本堂では御本尊の聖観世音菩薩像、弘法大師像など全仏像が御開帳されていました。

『佐屋町史』によると、西照寺は元々、598(推古天皇6)年に建立された甚目寺の塔頭の一つで、1934(昭和9)年に当地へ移転した真言宗の古刹です。この時、当地にあった薬師堂が合併されました。この薬師堂は、織田信長による長島一向一揆の兵火によって廃寺となった遍照院という大寺院のご本尊を戦乱後に安置したお堂でした。

## 平成最後の桜



平成最後となった今年の桜、開花から散り始めまでの期間、気温差が激しく変化する異常気象と重なり、去りゆく平成を惜しむかのように、約3週間という長期に渡り花見を楽しむことができました。

特に、4月6日(土)に立田町の船頭平公園で開催された“愛西市商工会主催 桜まつり”は、満開の桜の元、終日穏やかに晴れ渡り、絶好の花見日和となりました。用意された物産展では午前中に売り切れ状態となった商品もあったようです。

また、千引町の相ノ川桜並木で開催された地元有志による“桜祭り”も、約3週間という長期間ライトアップされ、最初は寒い日もありましたが、日々変化していく夜桜を楽しむことができました。さらに、3月31日(日)の11時半頃には、佐織中学校吹奏楽部の演奏が披露され、集まった住民の方々と一緒になって楽しみました。

## JR EIWA 駅周辺 歴史散策会

JR 永和駅ができた頃、1906(明治39)年に成立した海東郡永和村がありましたが、1956(昭和31)年、昭和の大合併で当時の津島市、佐屋町、蟹江町に分割併合されてしまい、永和という地名は、現在、駅名・学校名などにしか残っていません。

5月26日(日)には、愛西市中央図書館が主催して、愛西市内の永和地区を巡る歴史散策会が予定されています。愛西市中央図書館(☎0567-28-7760)が配布している愛西市歴史文化講座の案内チラシを参照下さい。

# 信長生誕祭

戦国時代の覇者・織田信長は、天文3年5月28日勝幡城で生まれた、という定説から愛西市勝幡町を中心に『信長生誕祭』が開催されています。今年は5月19日（日）、勝幡小学校体育館に於いて NPO 法人 信長生誕を育む会が主催し、稲沢市・愛西市・津島市が後援して『信長生誕 485 年祭』が開催され、芸能の演奏、講演会などが実施され多くの見学者が楽しみました。

この内、津島市にある牛玉山観音寺副住職の長谷川優氏による墨絵作成ライブパフォーマンスは、音楽に合わせた軽快な筆づかいで迫力ある信長像を描かれ、会場の皆さんを楽しませていました。

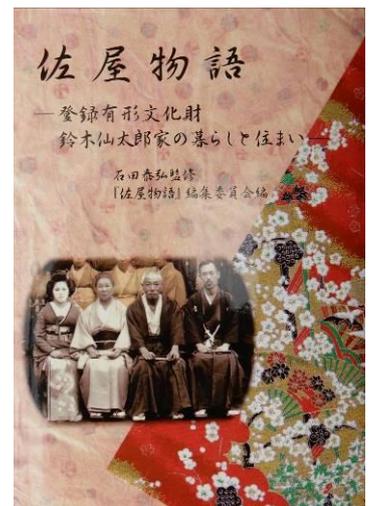


## 佐屋物語

愛西市須依町の旧佐屋路沿いに、1890（明治23年）に建てられ、2009（平成21）年に国の登録文化財に認定された鈴木家住宅があります。建築当時の当主である仙太郎氏は、明治・大正・昭和初期にわたって衆議院議員・愛知県会議員・佐屋町長を歴任された人物です。

2019（平成31）年4月、鈴木家に残る文書や写真、そして、鈴木仙太郎氏の子孫にあたる人々の記憶から、鈴木仙太郎氏の功績や鈴木家での暮らし、さらに、鈴木家住宅に関する本『佐屋物語』を子孫の方々がまとめられ愛西市教育委員会の石田学芸員が監修して発行されました。

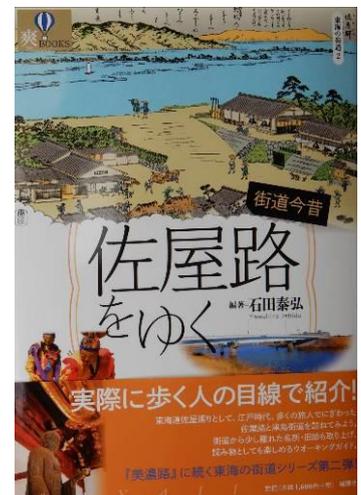
6月22日（土）・23日（日）には、出版に伴う鈴木家住宅の特別公開（要 入館料）が予定されており、出版された『佐屋物語』も頒布される予定です。



## 佐屋路をゆく

2019（令和元）年5月、名古屋市の出版社・風媒社から東海道の脇往還である佐屋路に関する本『佐屋路をゆく』が発行されました。まとめられた文章が実際に歩く人の目線で、当地の名所旧跡を愛西市など愛知県内の歴史民俗資料館や図書館が所蔵する多くの写真や図版を使って説明しており、街道沿いの状況がとてわかり易くなっています。

大手本屋さんやネット通販などでも購入可能です。愛西市内の名所旧跡もたくさん紹介されていますのでご利用下さい。



## ～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

- ・6月2日(日) 第70回 全国植樹祭(於:愛知県森林公園)
- ・6月4日(火) 2019年あいさいワンダーランド探検会①(於:木曾川背割堤)
- ・6月22日(土)・23日(日) 鈴木家住宅特別公開(於:須依町)
- ・7月13日(土)・14日(日) 蓮見の会(於:森川花はす田)
- ・7月21日(日) 地引網体験①(於:三和町の木曾川、葛木港など)
- ・7月27日(土)・28日(日) 尾張津島天王祭(於:愛西市西保町、津島市など)
- ・8月4日(日)、18日(日) 地引網体験②③(於:三和町の木曾川、葛木港など)

## V G 6月定例会の予定

集合時間:6月16日(日)9時～ 集合場所:愛西市文化会館  
内 容:2019年の事業について

◇5月定例会(5月19日(日)9時～12時、佐織公民館 27人出席)議事録

### 1) 協議事項

- ①愛西市中央図書館主催 愛西市歴史・文化講座「まち歩き事業」について日程確認。  
会議終了後、当日の担当を協議しました。
- ②「蓮見の会」について、事業内容を説明し協力対応を確認しました。

### 2) 連絡事項

- ①あいさいボランティアガイドの会の総会日程確認。
- ②研修旅行の日程を確認。
- ③ワンダーランド探検会について案内。
- ④鈴木家特別公開について、次月詳細案内。

### 3) 報告事項

東條町西照寺での御開帳の様子を報告。

### 4) その他

会議後役員会を開催しました。



あいさいさん

## SUN CLUB 絵画展

佐織公民館の展示コーナーでは、愛西市の絵画教室 SUN CLUB の展示会が下記開催されています。主に愛西市にある木曾川を描いた作品展で木曾川観光船を絵画製作の題材として利用されようとしたことに感謝し絵画展が盛況となることを祈願しています。

5月12日(日)～6月9日(日) 於:佐織公民館(月曜休館)

入館無料 共催:古野華道クラブ

# あいさい ワンダーワンド 探検会



愛西市の西を流れる木曾川河川敷には、不思議（ワンダー）な風景があります。木曾川堤防から垂直に突き出したケレップ水制群という防災構造物があります。ケレップ水制の間には、長い年月をかけて土砂がたまり、湾のような地形・湾処（ワンド）が形成され、多様な生物が棲みついています。さらに、海拔0m地帯にある当地の木曾川は、潮の影響を受け、毎日干満を繰り返しています。この結果、風景も刻々と変化し、干潮時には江戸

時代の住居跡などが姿を現します。

今年もワンダーワンド探検会を開催しますが、昨年の台風などの影響で巨木が倒壊し、鬱蒼と茂っていた木々がまばらになって雰囲気は大きく変わっています。先日、下見に行きましたが、倒壊した樹から例年より早く新芽が出ていました（写真）。

第1回探検会は、下記を予定しています。

事業名：2019年 第1回 あいさいワンダーワンド探検会

開催日：6月4日（火）

日程：13:00～ 東海広場駐車場（K14）で受付、行程案内

14:00頃～ 県境付近のワンド（K19）を徒歩探検

16:00頃～ 東海広場駐車場（K14）で解散

持ち物：汚れてもよい服装、長靴、軍手など

集合地：立田大橋下の東海広場駐車場

参加費：傷害保険代・案内資料代など実費をご負担いただきます（当日集金）

申込：6月2日迄に愛西市中央図書館（電話：0567-28-7760 月曜休館）

留意点：雨天中止。また、数日前に大雨が降り増水した場合は、快晴であっても中止となります。当日9時に参加者へ中止の連絡をします。



なお、気象庁HPの名古屋港潮位予測値から、新月となる6月3日（月）、7月3日（水）、8月1日（木）、8月30日（金）前後数日が最も良い干潮条件になり、別途探検会を開催します。

（左写真）下見に行った時、蓮根植え付けが始まった立田地区の水田で見かけたタシギ。渡りの途中の春や秋に日本へ立ち寄る旅鳥で、4月中旬に見られます。